

静岡市

第3次総合計画(2015.4~)「世界に輝く静岡の実現」

総合戦略(2015.10~)

創生推進会議 (H29)

短期的に効果の見込める社会減対策の企画立案

○大学生分科会：若者の地元定着・Uターン就職

○首都圏企業分科会：テレワーカー移住の促進

○子育て分科会：子育て世帯の呼び込み

○創業分科会：稼ぐ力を生み出す経済政策

子ども・子育て支援プラン等個別計画へ反映
産業振興プラン後期計画策定作業へ反映

SDGs推進

各計画にもSDGsを反映

創生・SDGs推進会議 (H30~)

長期的(2030年の姿)視野に立ちながら企画立案

○学生・留学生分科会：SDGsを活用し、若者に求心力のあるまち、グローバル人材の地元定着を図る。



○多様な働き方分科会：SDGsを活用し、誰もが働きやすい環境、住みやすい環境を整える。



「世界に輝く」ためのツールに
世界水準のSDGsを

- 目標相互を関連付け、各分野を超えた総合的施策へ発展
- 未来志向による施策展開により、未来市民のQOLの向上
- 世界の普遍的な共通言語であるSDGsを活用し、国内外へ発信

世界が認める
オンリーワン
のまち

世界に輝く静岡の実現

自治体SDGs支援

国連

SDGs = 国連版の総合計画

(Sustainable Development Goals; 持続可能な開発目標)

世界共通の普遍的目標として2015年国連採択



- ・ 2030年を期限とする包括的な目標
- ・ すべての主体が集結し、協働して推進
- ・ 将来の姿を描き、今なすべきことを実施
- ・ 1つの目標に向けた取組が他の目標に好影響

日本

SDGs推進本部

(2016.5内閣府設置、本部長：総理大臣)

【実施指針】SDGsを全国的に実施するため、広く全国の地方自治体等で活躍するステークホルダーによる積極的な取組を推進することが不可欠。この観点から、各地方自治体に、各種計画や戦略、方針の策定や改訂にあたってはSDGsを最大限反映することを奨励する。

【コンセプト】行政・民間事業者・市民等の異なるステークホルダー間で地方創生に向けた共通言語を持つことが可能となり、政策目標の理解が進展し、地方創生の課題解決が促進される。